

## 目次

### I. 総括研究報告

- 科学的根拠に基づくがん情報の提供及び均てん化に向けた体制整備に資する研究…………… 1  
国立がん研究センターがん対策情報センター本部  
若尾 文彦

### II. 分担研究報告

**【がん関連機関の情報連携環境の構築をもとにした“信頼できる情報群”からなる相談員や医療者向け情報支援データベース整備】**

#### 1) 医療者向けの情報支援データベースの整備

1. Web 上におけるがんに関するガイドラインの公開状況について…………… 9  
国立がん研究センターがん対策研究所<sup>1</sup>  
国立がん研究センターがん対策情報センター本部<sup>2</sup>  
西迫 宗大<sup>1</sup>、八巻知香子<sup>1</sup>、若尾 文彦<sup>2</sup>
2. AI-Chatbot での情報活用を促進するための Web がん診療ガイドラインの形式…………… 15  
国立がん研究センターがん対策研究所<sup>1</sup>  
東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野<sup>2</sup>  
国立がん研究センターがん対策情報センター本部<sup>3</sup>  
西迫 宗大<sup>1</sup>、東 尚弘<sup>2</sup>、若尾 文彦<sup>3</sup>

#### 2) 人工知能を活用したがん情報検索システムの検討

1. 正しい情報源を参照し返答する生成 AI によるがんの情報提供  
～ハルシネーションと返答割合のトレードオフ～…………… 27  
国立がん研究センターがん対策研究所<sup>1</sup>  
東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野<sup>2</sup>  
国立がん研究センターがん対策情報センター本部<sup>3</sup>  
西迫 宗大<sup>1</sup>、東 尚弘<sup>2</sup>、若尾 文彦<sup>3</sup>
2. 正しいがん情報を参照する生成 AI システムにおける  
大規模言語モデルおよび情報参照範囲の違いによる応答特性の検討…………… 34  
国立がん研究センターがん対策研究所<sup>1</sup>  
東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野<sup>2</sup>  
国立がん研究センターがん対策情報センター本部<sup>3</sup>  
西迫 宗大<sup>1</sup>、東 尚弘<sup>2</sup>、若尾 文彦<sup>3</sup>
3. がん診療ガイドラインを読み込み返答するパイロット AI-Chatbot の開発…………… 42  
国立がん研究センターがん対策研究所<sup>1</sup>  
東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野<sup>2</sup>  
国立がん研究センターがん対策情報センター本部<sup>3</sup>  
西迫 宗大<sup>1</sup>、東 尚弘<sup>2</sup>、若尾 文彦<sup>3</sup>

## 【患者や国民が必要な情報にアクセスしやすい情報検索システムの検討及び検証】

### 3) 信頼できる情報にたどり着きやすい仕組みづくりのための検討

1. がん情報入手に関する現状と課題 ～オンライン患者調査から見えてくること～…………… 51  
国立がん研究センターがん対策情報センター本部  
若尾 文彦
2. 患者・家族のニーズに基づく情報提供のあり方に関する研究…………… 54  
国立がん研究センター東病院<sup>1</sup>  
国立がん研究センター中央病院<sup>2</sup>  
国立がん研究センターがん対策研究所<sup>3</sup>  
坪井 正博<sup>1</sup>、鈴木 達也<sup>2</sup>、平野 公康<sup>3</sup>、関戸 淳<sup>3</sup>、澤田 典絵<sup>3</sup>、田嶋 哲也<sup>3</sup>、井上 真奈美  
平林 万葉<sup>3</sup>、大槻 曜生<sup>3</sup>、村上 睦美<sup>3</sup>
3. 信頼できる情報にたどり着きやすい仕組みづくりのための検討  
情報検索会社との連携による取り組み…………… 59  
国立がん研究センターがん対策情報センター本部<sup>1</sup>  
国立がん研究センターがん対策研究所<sup>2</sup>  
LINE ヤフー株式会社<sup>3</sup>  
若尾 文彦<sup>1</sup>、平野 公康<sup>2</sup>、石川 文子<sup>2</sup>、関戸 淳<sup>2</sup>、吉田 奨<sup>3</sup>、増田 律子<sup>3</sup>、

## 【がん診断時等の患者にがん診療施設（がん非拠点病院を含む）で適切に情報提供する方策の検討】

### 4) がん診断時等にごん診療施設で効果的に情報提供する方策に関する検討

1. がんの診断時に適切に患者等に情報提供する方策の検討…………… 64  
静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科 / 国立がん研究センターがん対策研究所  
高山 智子
2. 山形県内および自施設における取り組みから…………… 69  
山形県立中央病院  
鈴木 克典、船山 香織
3. がん診療連携拠点病院がない地域の急性期病院におけるがんの情報提供について…………… 79  
国立病院機構九州がんセンター / 遠賀中間医師会おんが病院  
藤 也寸志
4. 宮崎県内および自施設における取り組みから…………… 83  
宮崎大学医学部附属病院患者支援センター  
鈴木 斎王

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表…………… 84